

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

〔取り組みの事実〕

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

〔取り組んでいきたい項目〕

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

〔取り組んでいきたい内容〕

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

〔特に力を入れている点・アピールしたい点〕（アウトカム項目の後にある欄です）

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族＝家族に限定しています。

運営者＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（No.1からNo.87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（No.88からNo.100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム清水三保の家
（ユニット名）	二号館
所在地 （県・市町村名）	静岡県静岡市清水区三保3053-74
記入者名 （管理者）	管理者／桜田説子 ケアマネ／小野賢一郎
記入日	平成 21年 6 月 9 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(☐ 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な環境の中で、ゆったりとした生活を送り、そして一人一人が役割を持ちながら楽しく暮らす「住まい」を目指す	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「ゆっくり」「一緒に」「楽しく」暮らせる 高齢者のための「第二の住まい」を作るよう日々取り組んでいる	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	契約時や運営推進会議等の場で 家族や地域の人たちに問うホームの理念や活動を理解してもらえよう努力している	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	毎日の近隣の散歩の中で 隣近所の住民と顔な馴染みになっていて 親しく挨拶や会話を交わしている	○ 地域の中にあるグループホームを目指して近隣の方々との関係を大切にしていきたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣神社への初詣、清水『七夕祭りや地区夏祭り等への参加、ボランティアによる慰問等の年間行事を通して 地域社会との交流を深めている	○ 地域の行事に積極的に参加し地域の一員としての生活していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議等を通じて近隣の高齢者の役に立つことを模索している 家族との関わりの中で 認知症介護について折に触れ啓発している	○	地域に役立つ知識や技術があれば地域に貢献できるよう発信していきたい
各職員が評価に関わることによって 自分たちが提供しているサービスの現状を振り返り				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	各職員が評価に関わることによって自分たちが提供しているサービスの現状を振り返り 課題を明確にし改善に取り組もうとする意識を高める意義がある		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議意は 地域に当ホームの 活動を理解してもらう場であるとともに 当ホームがより地域に貢献できるサービスを提供できるように 家族や地域の意見を取り入れる場として活用している		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	生活保護者受給者については 家族・親族の協力が薄い場合があり 市の担当者職員と綿密な連携により 支援を行っている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	実際に当ホームにおいて複数の利用者が 日常生活自立支援事業や成年後見制度を利用して 利用者・職員にとって身近な制度となっている		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待については 法人における年二回の研修で 必修科目として全職員が学習し レポートを提出することが義務付けられている また管理者は市の集団講習会を受講している	○	今後も地域福祉権利擁護、成年後見制度を利用していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
契約の内容については 十分に時間をとって説明し				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の内容については十分に時間をとって説明し 利用者や家族の不安を取り除き、安心、納得してもらえるように努めている		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外部の介護相員の訪問時には 利用者が意見・不満・苦情を自由に述べる事が出来る雰囲気を整えている	○	利用者がら不満や苦情が出たときには真摯に受け止め対応していきたい
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	一ヶ月に一度の以上の頻度で綿密に連絡を取り合い 利用者の近況を報告しながら ホーム側・家族側双方が お互いの意見を忌憚なく交換できるよう努めている		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設玄関ホールに意見箱を設けている他 サービスに関する家族の意見には 常に謙虚に耳を傾けるように努めている		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送りノートや日頃のコミュニケーションを通して 建設的な意見を積極的に運営に反映させている		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	外出やイベント開催時など TPOに応じて職員の勤務体制の調整を行い 利用者の利便に資するよう 柔軟に対応している		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	フロアーの担当職員を固定化し 馴染みの関係を築く中で 利用者の継続的なケアを実践している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社時には先輩職員の指導で一ヶ月程の新人研修をした後、日常業務に就き その後半年毎にA・B・AA課程の講習を受けレポートを提出が義務付けられている また実践者研修・管理者研修等 本部指示のもと受講している		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	母体病院グループの静岡地区6グループホーム管理者は毎月、運営会議・勉強会を開催しており 地区運営会議に於いては地域包括ケアマネさんより情報の提供を受けている		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	本部主催では年に一回の社内旅行や会員のバレーボール大会があり、職員の為の年金相談窓口の設置している グループホームにおいては職員の為の懇親会や 管理者との面談等を等で職員のストレスの軽減を計っている		
22	運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の勤務状況や年数に応じて外部研修への受講を勧められ資格所得により手当が付加される 個別での評価と業務評価が賞与に反映し 個人と施設の両面での意識が求められている		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ホームに来所していただき 家族、利用者様との面談を行い 実際の生活での不安を少なくし 本人の心身の状態や生活歴の把握により本人を理解し信頼関係を構築している		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面談により本人及びご家族が抱えている諸問題について真摯に耳を傾け ホームでの福祉ニーズにより少しでも解決に近づけるように 信頼関係を築いている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面談により本人の現状や相談内容の把握により 本人やご家族のニーズが等ホームでの対応で可能かどうかの見極めにより 他の施設の紹介等 本人に必要な支援を行っている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族から利用者様の現在の様子や生活歴などを可能な限り伺い 入居時には慣れ親しんだ調度品を持参して頂き 入居者がそれまでの生活を継続出来るように又個人の過ごし方が尊重されるように心掛けている ご家族や友人の訪問を依頼、歓迎し孤独感を味わうことのない様に努力している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として一緒に家事を行うことにより 共同生活の同志として役割分担し 一員としての立場を確認している		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	運営推進会議やホームで開催される行事などに参加を呼びかけたり面会時に一緒に散歩や作業を行うなど 利用者やそれを取り巻くホームの現状についても理解を深めて頂き 利用者との会話等の中からコミュニケーションをとれる様に努めている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	各家庭の諸事情により対応は異なる為、会議等に参加されなかった家族には毎月の連絡等に近況報告や写真の同封をし 現状を理解していただける様に努めている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や親戚の方々の訪問を歓迎し 来所時には手紙や写真を見たりして継続して時間を共有できるよう支援している		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	共同生活より誤解や感情の衝突により良い人間関係が崩れないようサポートし 家族的な人間関係が形成できるよう支援している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院・転院によりホームより退所されても 随時連絡を取り合い 他利用者の受診等で行った際は訪問しその後の状況経過把握に努めている 時には励まし、相談にのるように努力している		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の生活習慣の把握に努め 本人の言葉には表れない真のニーズに答えるべく 常に心の動向に寄り添うよう努めている	○	ホームにおいて穏やかに楽しく暮らせる状態を保てるような援助を心掛けたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人及び家族に対する事前面談等により、情報収集に努め入居後の行動や言動により状況把握を行っている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日常的な観察に努め バイタル、メンタル、ADLの状況によりバイオリズムの変化を見逃さず適切な介護が出来るよう努力している		
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の観察により情報を共有し体調、心理面での変化を見逃さず 定期的なカンファレンス以外にも 家族も含めた情報の収集により より良い介護計画の作成に努めている		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	体調の急激な変化や怪我等により入院があった場合のケアの見直しには 医療機関の医者、相談員、家族等に相談し 本人の同意を得て介護計画の見直しを行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	体調の変化や日々の様子、ケアの工夫など 個別記録の記入し情報を共有している。状態の変化や通院により医者からの指示があれば 見直しや話し合いを行ってより良い介護が出来るよう実践している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の要望に応じて 通院介助や同行、送迎など その時々々の必要な支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	三保消防署の方に指導をお願いして避難訓練を実施している。民生委員の方たちには災害時の避難の注意事項の助言などを伺っている。	○	地域民生委員の方々から助言を頂き、避難訓練や防災訓練の参考とし協力をいただける様に 関係を深めていきたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問理容やボランティアの方々の慰問を受け楽しい時間を過ごしている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	利用者の必要性や要望に応じて 権利擁護事業を利用し相談している		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望する掛かりつけ医に受診できるよう支援し、相談しながら定期的に受診している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	掛かりつけ医である認知症認定医に相談し 利用者の診断や治療をお願いしている		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	本部病院の看護師や 掛かりつけ医の看護師と連携を取り合い助言をもらっている		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には面会に行くことで利用者の精神的不安を和らげるようにしている。また、医師や看護師に相談し情報を交換し早期退院に向けて連携をはかっている		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人の意向を尊重し家族と話し合いながら 医療機関と相談、助言を受け対応し 全員で方針を共有している。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者にホームで出来ること、出来ないことを見極め 医療機関の医者に相談し助言をしていただき 急変時にも対応できるよう情報を共有している		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人が変わらぬ生活が継続出来るように 普段の様子や薬の情報などを伝達している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録・書類は事務所に保管されており 個人情報厳守されている。利用者の状況や状態に合わせて 誇りを傷つけないようプライバシーに留意しながら言葉かけをしている		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	声掛けをする際には 利用者にとって分かりやすく安心できるような説明を行い 自己決定出来るような言葉かけや対応を行い 職員の意見を押し付けないようにしている		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	必ず声掛けを行い表情や状態を見ながら 利用者の意思を尊重し対応している。起床や入浴など様子を見ながら 希望に沿って支援している		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	二ヶ月に一度、床屋に来てもらい散髪や顔そりをお願いしている。利用者は床屋の来訪を心待ちにしている		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は テーブルを拭いたり食器やお盆を拭いたりし 職員と共に食事の準備や片づけをしている。中には自発的に行う利用者もいる		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	毎日、午後三時にはおやつを提供している。ひなまつりや彼岸などの行事には 季節に合ったおやつを出し喜ばれている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	自立されている方には出来ることにはなるべく手を出さず見守りしただけで見ているという状態にならないよう細心の配慮をしている。介助の必要な方には失敗した時など利用者の苦痛にならないように対応を心掛けている。排泄表を確認し個々の排泄パターンを基本にトイレ誘導を行っている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個人の湯の温度の好みや入浴時間の希望をできるだけ聞き入れ体調を考えた上で楽しく笑顔で快適に入浴できるよう努めている。利用者は入浴を楽しみにしており日曜日以外は毎日入浴している	s	
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	各居室は個室となっており自分自身の時間を持ちたいときは自室に入ることが出来る。夜間の排泄介助の際は極力速やかに静かに眠りを妨げることなくパット交換を行うよう努めている。起きてトイレに行かれる方については転倒に気をつけながらすぐに眠りに付けるよう落ち着いて穏やかに行うように努めている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は食器拭きやテーブル拭き、洗濯物のたたみなど出来る範囲で無理することなく行動している。折り紙、塗り絵、ジグソーパズルなどお互いに教えあいながら作成している		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	出かけることが困難な方はご家族の了解のもと職員が代わりに買い物をしている。現在はご自分で金銭管理をされている方は居られない		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々の日課である散歩は天候が良ければ毎日行っている。自然に触れるのに良い機会であり個々の好みや体調を考えてコースを決めている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人や家族の希望により連携して支援している。ホームにおいては初詣、桜花見、夏祭り、七夕など出来る範囲で外出支援している	○	車の確保を工夫し外出の機会を増やしていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望により電話をかけたり 手紙の投函などの補助を行っている		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族の意向を尊重しながら 利用者のご家族、友人、知人等が気楽に訪問していただけるように準備している。居室、ホールのどちらでも ゆっくりして頂けるよう努めている	○	ご家族の訪問は顔がほころぶ瞬間であり心和むときであるので そのような機会を設けたい
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は法人における研修で身体拘束について学習しレポートを提出しており 身体拘束しない介護を実践している		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	個人的に鍵をかける利用者以外は居室を開放している。方向がわからなくなってしまう認知度の高い利用者の入居があり玄関に鍵をかけている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	安全を一番に重視しつつ 個人的プライバシーに関わる場合は 必ず本人に声をかけ了解を得て行っている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	誤飲、誤食のある利用者の場合は 慎重に行動を見守りホール内の物品を手にしても危険のないように細心の注意をはらっている。包丁、はさみなど危険性の高いものは使ったら必ず確認し保管場所を考慮している		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員は法人における教育課程で 諸問題の対応を学んでいる。また年二回消防署職員の立会の元に行われる火災訓練により 防災の知識を得ている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員は緊急時の対応の講習をうけており 本部の教育課程において学習している		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署職員の指導により 春秋年二回の防災訓練を実地している。運営推進会議において地元の自治会長や民生委員の方々と話し合い 災害時には協力をお願いしている	○	日頃からの注意や訓練を重ね 消防署と連携を取って災害に備えたい
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	利用者は個々に状態が異なるため ご家族にはそれぞれに、対応や状況を報告し起こりうるリスクを説明し理解を得ている。家族の希望を確認し医師との連携により快適な生活空間を作るよう努めている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	業務日誌、個人ファイル、申し送りノートにより 日々の様子を伝達し職員同士での話し合いを行っている。また毎日のバイタルチェックにより変化を確認している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者の個人ファイルに薬の情報が保管されており 職員はその目的や用法等を理解している。体調の変化に応じて医師と相談し、変更対応している。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェック表を確認し 毎日の散歩や水分補給、野菜の摂取など注意をはかっている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝晩の歯磨き、口腔ケアを 本人の意思を尊重して行っている。介助の方に於いては無理なく穏やかに出来るよう努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分補給は 毎日の食事、10時の15時ティータイムに行われており個人記録に記入し確認している。食事は食べやすいように刻みにするなど 利用者の状態に合わせて対応し記録している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	タオルや食器のハイター消毒、手洗いの励行実施 台所のエプロンの着脱を行っている		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日、普段使う食器の消毒を実施している。また使用する食材は必ず冷蔵庫に保管し新鮮な状態を保つように心掛けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	正面玄関には花を植えて明るい雰囲気を作っている。また下駄箱の整理や玄関の清掃等に気を配っている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレ、浴室などプライバシーが保てるようになっている。ホール、居室には 誕生会や季節の行事の写真を貼り 掲示も季節により変えている	○	折り紙などで飾り作りをして 利用者が積極的にできるよう進めて生きたい
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	みんなで談笑したりするホールや 個人の生活を保てる居室を 好きな時に行き来して過ごしている	○	新しい利用者が入居しソファーに座る位置を 利用者同士が会話が進むように気を配って生きたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全面に配慮しながら 本人の使い慣れた家具や日用品を持ち込み、落ち着いた居室作りを心掛けている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなくよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	雨天に注意しながら こまめな窓の開閉を心掛けている。居室とホールの温度差にも注意を払っている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行能力に不安のある利用者には 手すりを使いながら安全に自立した自立した移動が出来るよう促し援助している	○	手すり等を使って 筋力トレーニング等も進めていきたい
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各利用者のの人間関係をに気を配り 言葉のみでなく態度でのコミュニケーションに気を配っている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外側にベンチや花のプランターを置き 散歩で外に行くときなどに休んだり 季節の花の話をしたり談笑したりする時に利用し活用している	○	花に水をやるなど 具体的な行動も促していきたい

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の
		②利用者の2/3くらいの
		③利用者の1/3くらいの
		④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある
		○ ②数日に1回程度ある
		③たまにある
		④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が
		②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が
		②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が
		○ ②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が
		②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が
		②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と
		②家族の2/3くらいと
		③家族の1/3くらいと
		④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

年齢的にはご高齢者方が多く 動作はゆっくりとしており、ゆったりとした時間を毎日送られています。利用者にはそれぞれに個性があり 反応もまちまちで、その日の状態によっても異なる方々が 一緒に暮らしておられます。いつの間にかホールにみんな集まり 体を寄せ合って談笑したりテレビを見たり折り紙をしたりする姿が見られ 穏やかな生活空間を作っています。また、毎日の公園への散歩を楽しみにしており 朝は待ち切れず張り切って出かけています。お風呂には 日曜日以外は毎日入っており 楽しみの一つでもあります。「あ～気持ちよかった、さっぱりした」の笑顔が毎日見られます。一緒に暮らすことで 楽しみは倍増し孤独は削減しているようです。今後も この穏やかな生活空間を 利用者の方々と過ごしていきたいと思っています。